

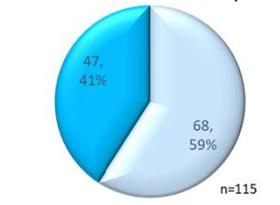
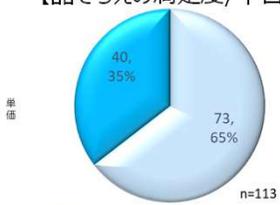
# コスモス広場について

- 道の駅を整備することになった場合、コスモス広場の農産物直売機能について発展的に合流できないかと考えています。
- コスモス広場の売上は、ピーク時には約5.6億円(H20)ありましたが、近年では約4.3億円(H30)と減少傾向にあります。生産者の高齢化に伴う出荷量の低下や農家数の減少等の原因が考えられますが、農業は古賀市にとって重要な産業であり、より一層の振興が不可欠です。
- コスモス広場は新鮮な野菜などが手ごろな価格で手に入るとの声が多く、市内外に愛された施設であり、その機能を道の駅に合流し、食品工業団地やJA等と連携し、機能を拡充することにより、ブランド力が向上し、より多くの方々の来客につながることを期待されます。
- 整備することとなった場合には、生産者をはじめ、コスモス広場利用組合としっかり協議を行ってまいります。

【コスモス広場の売上と客単価】

【品ぞろえの満足度/平日】

【品ぞろえの満足度/休日】

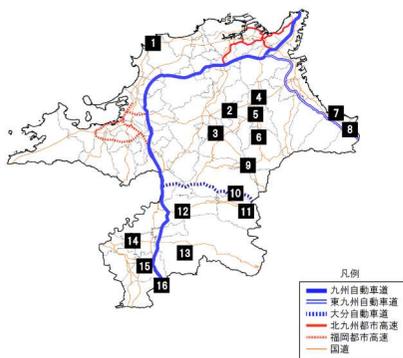


コスモス広場利用者へのアンケート (H29観光拠点設置可能性調査)

# 道の駅とは

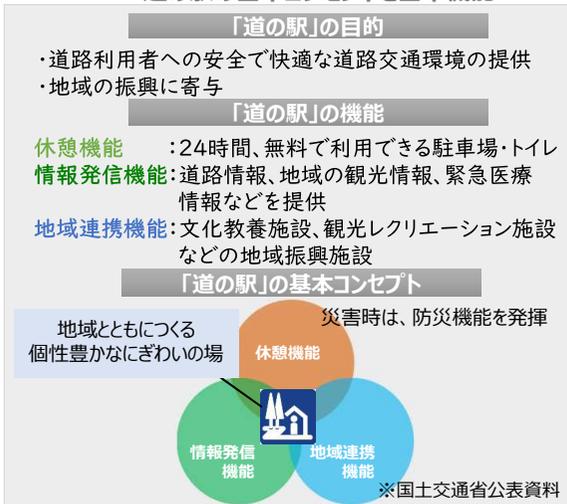
- 国土交通省によって登録されている道の駅は、1,154駅（平成31年3月現在）。
- 従来の休憩機能、情報発信機能に加え、現在では、道の駅自体が目的地となり、まちの特産物や観光資源を活かして多くの人々を呼び込み、雇用創出や経済の活性化、住民サービスの向上に貢献する地域活性化の拠点として期待。
- 福岡県内では、16の道の駅があり、仮に古賀市に整備されれば、福岡市から一番近い道の駅に。

【福岡県内の道の駅の立地状況】



むなかた、いとだ、うすい、香春、おおとう桜街道、  
 歓遊舎ひこさん、豊前おこしかけ、しんよしとみ、小石原、  
 原鶴、うきは、くるめ、たちばな、おおき、みやま、おおむた

## 道の駅の基本コンセプトと基本機能



# 道の駅を整備するかどうか 検討しています

リーフレット

古賀市では、道の駅を整備について検討しています。たいせつな話ですので、市民のみなさまのご意見をいただきながら、夏頃までに、整備するかどうかの方針を決める予定としています。

## 【今の古賀市の現状】

- 古賀市は、豊かな自然に恵まれ、国史跡として指定を受けている船原古墳をはじめとして、薬王寺温泉、あまおう、スイートコーンといった多くの地域資源があります。しかしながら、これらの地域資源の認知度は残念ながら、まだまだ高いとは言えない状況にあります。

## 【観光拠点（道の駅の検討状況）】

- このような現状を踏まえ、市では、平成29年度から市外に向けて地元農産物の販売や観光PRを促進する場として、さらに、市民の皆さんが気軽に利用し、古賀市の魅力を再発見していただく場として、どのようなものが望ましいか検討を進めているところです。
- 特に古賀市は食料品製造業の出荷額が福岡県内で第2位を誇り、月末の工場直売イベントでは市外から高い集客力があります。また、仮に古賀市に道の駅を整備した場合、福岡市から一番近い道の駅となり、インバウンド需要等を獲得できる可能性を秘めており、本市の特徴である食をテーマとした観光拠点は大きな魅力があると認識しています。
- 一方で、施設の整備には多額の費用が必要となります。道の駅として整備することで、知名度アップや整備の際の市の費用負担軽減などのメリットがあるものの、国の基準に沿った駐車場整備や24時間利用に対応した維持管理費の負担等のデメリットもあります。

## 【市民のみなさまへ】

- 市としては、市民のみなさまにも現在の検討状況を知っていただく必要があると考え、平成30年度末時点の計画（暫定案）の要点をこのリーフレットにとりまとめ、お示しすることといたしました。ご一読いただき、ぜひご意見をお寄せくださいますよう、お願いいたします。
- なお、本内容は、道の駅を整備する場合、どのような機能・規模が想定できるかを検討したもので、あくまで暫定案の位置づけであり、整備が決定しているものではありません。

## 【道の駅整備に係る意見募集】

- 資料の閲覧・意見提出期間：6月7日(金)～7月3日(水) ※当日消印有効
- 提出方法：①～③の方法で調査票を入手し、商工政策課宛てにご提出ください。  
 ①この調査票をコピー（原本は閲覧板に戻してください。）②市ホームページから印刷③以下の閲覧場所に設置している調査票を活用（郵送・メール・FAX・持参でご提出ください）  
 ※道の駅整備に関する詳しい資料は、以下で閲覧が可能です。  
 市ホームページ、市商工政策課窓口、サンコスモ古賀、市役所案内コーナー、リーパスプラザこが、古賀市隣保館（ひだまり館）

## 【タウンミーティングについて】

- 道の駅について市民のみなさんと市長が直接対話する対話集会を開催します。
- 日時：6月21日(金)19時30分～（受付19時～）
- 場所：リーパスプラザこが交流館多目的ホール

○問い合わせ 市商工政策課  
 電話 942-1176 FAX 942-3758  
 ✉ shoukou@city.koga.fukuoka.jp

事前申し込み不要で、  
どなたでも参加できます

# 古賀市 道の駅 基本計画(暫定案) の概要

## 候補地

整備候補地は古賀市青柳の筑紫野古賀線沿線、古賀グリーンパーク向かいです。

## 規模

- 道の駅の用地面積：約23,000㎡
- 主要施設の面積：約1,980㎡



## 道の駅の施設テーマ

### 《フードホールこが》

古賀市産の新鮮食材や食品加工工場直送のオリジナル商品等を“買い”、豊かな自然に触れながら“食べ”、加工体験等の“食育”の場も提供する、古賀の“食”の魅力・資源をフル活用した複合施設



新鮮な野菜等の直売



工場直売やオリジナル商品の販売



自然食バイキング



できたて商品の販売

※他の道の駅等で導入されている機能の参考例

## 道の駅の売上などの想定

- 利用者：約110万人/年（前面交通量からの算出）
- 売上：約10.6億円/年
- 営業利益：約2,970万円/年（運営事業者の収益）

## 費用

- 総事業費：約22.6億円
  - そのうち市の負担額：約15.5億円  
（国や県から入ると想定される補助金などを除いた分の負担額）
- ※借入れも行いながら20年間で返済する予定です。

## 開業までのスケジュール

※整備する場合

- 2019年度：用地造成の基本設計
- 2020年度：用地造成の実施設計、運営事業者の募集
- 2021年度：用地の購入、施設の建築設計
- 2022年度：施設の建築工事
- 2023年度：開業

## 道の駅の施設イメージ



## 道の駅の整備を通じて解決が期待される市の課題

- 古賀市の地域活力の向上、魅力の維持増進、交流人口の増加促進(通過交通の多さ、周辺の観光需要の取り込み)
- 市民生活の利便性の向上(市民が気軽に利用し余暇を過ごす空間の創出、買い物や飲食の場)
- 産業のさらなる振興(農商工や観光の魅力・稼ぐ力の向上、加工品の開発・販売、市のブランド力の向上。市民の新しい事業やチャレンジの支援)
- 発信力の向上(古賀市の魅力を市内外に発信する力の向上)

本内容は、関係機関・関係者等との調整前のものであり、今後変更になる可能性があります。